



野鳥の 不思議解明 最前線

#89

文 植田睦之

© Japan Bird Research Association, 2013

見つめ合うオナガの夫婦。カケスがつがい相手のきもちがわかるのだから、きっとオナガもわかっているのでしょうね。
撮影●内田博

鳥の雄は女心がわかる？

～雌が欲しい食べ物をプレゼントするカケスの雄～

「では、食事にでも行きましょうか」ってことになった時に、これまであまり付き合いのなかった人が相手だと、どこに連れていったらよいか迷うことがありますよね。そんなとき、相手の好きなものがわかっていると楽です。ぼくの場合は、日々、ブログでカツ丼写真を掲載しているおかげで、最近では初対面の人でもぼくのカツ丼好きを知っていることが多くなりました。そしてどこか食事に行こうとなった場合に、「カツ丼行きますか？」と言われることが多くなりました。

鳥の場合は、共同で採食に行くような鳥はほとんどいませんが、求愛給餌の際には相手の好みのものをあげることができたら、雌からの評価があがりそうです。なんと、カケスがちゃんと相手が食べたいものを判断して、それを求愛給餌しているという研究が最新のPNAS誌に出ていたのでご紹介したいと思います。

この研究をしたのはケンブリッジ大学のOstojicさんたちのチームです。彼らは、雄が雌が何を食べているか理解して、求愛給餌の食物を選ぶことができるかどうか明らかにするために、飼育下のカケスを使った実験を行ないました。カケスのつがいをまず、雄雌別のケージに入れ、彼らが好むミールワームかあるいはガの幼虫を与えます。そして雄が雌の様子を見えるようにした場合と、見えないようにした場合とで、その後の雄の給餌行動に違いがあるかどうかを調べました。

すると、雄が雌の様子を見えるようにした場合には、それまで雌がミールワームを食べていたなら、雄はガの幼虫を雌に与えました。逆に、雌がガの幼虫を食べていたならミールワームを給餌しました。雄は雌がミールワームばかり食べていると、もうミールワームに飽きてきただろうと判断して、ガの幼虫をプレゼントしたのではないかと考えられます。それは、雌の様子が見えないようにした実験からも支持されました。雌がそれまで何を食べていたかわからない場合は、雄はミールワームとガの幼虫を無作為に雌に与えたのです。

この実験は雄は雌が欲しいものをちゃんとわかったうえで行動していることを示唆しています。ただ、それまでの行動を見ていないと無作為給餌になってしまうので、カケスには「雰囲気」で雌の欲しいものがわかるまでの能力はないようです。そのあたりは表情筋のない鳥の限界でしょうか。

ちなみに、バードリサーチには「あんこ」の苦手なスタッフが複数います。バードリサーチにお土産を持ってきていただく方はご注意ください。表情筋で「雰囲気」が伝わってしまうと困りますので…。

紹介した論文

Ostojic, L., Shaw, R.C., Cheke, L.G., & Clayton, N.S. (2013) Evidence suggesting that desire-state attribution may govern food sharing in Eurasian jays. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America* 25. doi:10.1073/pnas.1209926110